

【招請講演】

堂免 一成

1982 年東京大学理学経緯研究科化学専攻課程で博士号を取得。2017 年より信州大学へ移籍し東京大学とクロスアポイントメント。現在、信州大学特別栄誉教授、東京大学特別教授、東京工業大学名誉教授。グリーン水素の生成に関する研究を長年にわたり推進してきた。太陽光を利用した水分解による水素製造技術に焦点を当て、粉末半導体光触媒と反応システムを用いて、水を分解し水素を製造することに成功。粉末光触媒は、シンプルな構造で大規模なプロセス展開が可能なため、実用化に向けた大きな可能性を秘めており、社会実装への期待が高まる。2024 年、「クラリベイト引用栄誉賞」を受賞し、ノーベル賞候補の一人として注目されている。